

岡山市×岡山大学×デマント・ジャパン(株) 加齢性難聴の早期発見・早期ケアに係る連携協定の締結式を開催します

岡山市は岡山大学、デマント・ジャパン(株)と連携協定を締結し、難聴や補聴器に対する正しい理解の促進、早期発見・早期対応に取り組むことで、聞こえを支えるまち(City for Better Hearing)の実現を目指します。

1 日 時

令和7年7月2日(水) 10時40分～11時10分

2 場 所

岡山市役所本庁舎3階 第三会議室(北区大供一丁目)

3 出席者

岡山市長 大森雅夫

国立大学法人岡山大学 学長 那須保友

デマント・ジャパン株式会社 代表取締役社長 齋藤徹

※特別参加者(祝辞)

駐日デンマーク大使館 経済外交ヘルスケア担当 公使参事官

Thomas Højlund Christensen (トーマス ホイルンド クリステンセン)

4 内 容

「普及啓発」「早期発見」「早期対応」のサイクルを形成し、フレイル予防や社会参加の促進を目指していきます。

5 その他

連携協定の詳細は別紙にてご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市 高齢者福祉課 片山・疋田 直通086-803-1230 内線5960・5956

岡山市 × 岡山大学 × デマント・ジャパン(株) 加齢性難聴の早期発見・早期ケアに係る連携協定の締結について

目 的

岡山市、岡山大学、デマント・ジャパン(株)の3者が連携協定を締結し、難聴や補聴器に対する正しい理解の促進、難聴の早期発見・早期対応に取り組むことで、聞こえを支えるまち(City for Better Hearing)の実現を目指す。

【聞こえを支えるまち (City for Better Hearing)】

難聴高齢者のコミュニケーション能力の維持向上を図り、フレイル予防や社会参加を促進するまち

連携事項

1. 難聴や補聴器に対する正しい理解の普及啓発に関すること
2. 自動聴覚検査機器／聴覚検診車AudikaGoを活用した難聴の早期発見に関すること
3. 難聴疑い者への受診勧奨等に関すること
4. 適切な補聴器装用のための専門家の質の向上に関すること
5. 取組みの効果検証に関すること
6. その他本協定の目的遂行上必要な事項



有効期間

令和8年3月31日まで

※期間終了後は、3者が意思表示しない場合はさらに1年延長され、その後も同様とする。

加齢性難聴について

音を感じる細胞が
年齢とともに減少

聞こえづらい症状が徐々に
進行するため、自覚しづらい



日常生活や社会生活に悪影響

コミュニケーション能力・認知機能の
低下、社会的孤立 など

聴覚ケアの課題

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ①聞こえに関する正しい理解の啓発 | ②セルフケアの導入 |
| ③聞こえの状態を早い段階から知ること | ④適切な補聴器の装用につなげること |

締結後の取組イメージ(市×大学×企業)

○普及啓発、早期発見、早期対応のサイクルを形成し、フレイル予防や社会参加の促進

【普及啓発】

- ・聞こえに関する正しい理解の啓発
 - ・セルフケアの導入
- ※課題①②対応

※効果検証を実施し各取り組みへフィードバック

【早期対応】

- ・補聴器購入費の助成
 - ・専門家の質の向上
- ※課題④対応

【早期発見】

- ・聴覚スクリーニング
 - ・受診勧奨
- ※課題③対応

各取組詳細と連携協定の関係

参考資料

【普及啓発】

聞こえに関する正しい理解の啓発＜連携 1＞

市 介護予防教室等を活用

企 聞こえや補聴器装用に関する20分程度の講話を公民館等で実施

セルフケアの導入＜連携 1＞

大 セルフチェックや、セルフケアに関する普及啓発資料作成時に知見等の提供

※効果検証を実施し各取り組みへフィードバック＜連携 5＞

大 補聴器装用前後のアンケート調査の分析を実施

【早期対応】

補聴器購入費の助成

市 補聴器購入費の助成を実施
補聴器装用前後のアンケートを送付・集計

専門家の質の向上＜連携 4＞

大 市内耳鼻科・補聴器専門店へ分析結果や普及啓発資料を共有し、補聴後のフォローアップの質の向上を図る

【早期発見】

聴覚スクリーニング＜連携 2＞

市 実施場所の確保

企 簡易聴力検査機器を用いた3～5分程度の検査を実施し難聴リスクを判定

受診勧奨＜連携 3＞

企 難聴疑いの者へ受診勧奨や補聴器導入までの相談を実施

大 難聴疑いの者の対応や相談先を紹介する説明資料を作成